

第6回マイクロジオデータ研究会 「震災ビッグデータとこれからの震災対応」 に関するご案内

主催：マイクロジオデータ研究会

共催：東京大学空間情報科学研究センター， 合同会社マイクロベース

協力：日本放送協会

水ぬるむ候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて2014年3月19日（水）に東京大学駒場Ⅱキャンパス（東京都目黒区）にて第6回マイクロジオデータ研究会を開催いたします（<http://geodata.csis.u-tokyo.ac.jp/mgd/?p=871>）。

今回のテーマは「震災ビッグデータ」です。2014年3月2日（日）にNHKにて放送の「震災ビッグデータ3」に合わせて、様々なマイクロジオデータを活用した東日本大震災の被害状況の把握や復興支援、また今後発生が予想される大規模地震への備えに関する最新の研究成果について、関連する研究者や民間企業からご講演頂きます。また講演後にはパネルディスカッションも開催いたします。更に講演後には懇談会も開催いたします。皆様には本研究会にご参加頂けるよう是非ご検討頂ければと思います。

<場所>

東京大学駒場Ⅱキャンパス（東京都目黒区） 総合研究実験棟（An棟）コンベンションホール
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_04_09_j.html

<日時>2014年3月19日（水） 13:10～17:30 （懇談会 17:30～）

<参加費>

本研究会は無料でご参加頂けます。懇談会は有料となります（1人2,000円）。

<参加登録のお願い>

当日配布を予定している資料の作成部数や懇親会の準備の都合上、事前に参加者数を把握するため、ご参加頂ける方は以下から参加登録をお願い致します。登録後、チケット申し込みに関するメールが届きますので「こちらのリンクからウェブで確認」をクリックすることでチケットを表示できます。プリントアウトして当日受付にてご提示下さい。

なお事前のご登録無しでもご参加頂けますが、席をご用意出来ない場合がございます。ご了承下さい。

<http://micro-geodata.peatix.com/>

<プログラム>

12:30～ 受付開始（事前に参加登録をされた方）

13:00～ 受付開始（当日受付）

13:10～13:20 「マイクロジオデータ研究会の紹介」

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 特任助教 秋山祐樹

<第一部：震災ビッグデータに見る我が国の姿>

13:20～13:45 「震災ビッグデータの舞台裏」

日本放送協会 報道局 社会番組部 ディレクター 阿部博史

13:45～14:10 「マイクロジオデータを用いた国土スケールの災害リスク・地域災害対応力評価」

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 特任助教 秋山祐樹

14:10～14:35 「自治体・住民による震災ビッグデータ活用と課題～減災・防災～」

東京大学生産技術研究所 准教授 加藤孝明

14:35～15:00 「首都直下地震時における徒歩帰宅と広域避難」

東京工業大学大学院 理工学研究科 助教 沖拓弥

東京工業大学大学院 情報理工学研究科 教授 大佛俊泰

15:00～15:15 休憩

<第二部：マイクロジオデータを用いたこれからの震災対応>

15:15～15:40 「企業ビッグデータから被災地企業の3年をみる」

株式会社帝国データバンク 北村慎也

15:40～16:05 「報道空白域を探せ！ データジャーナリズム・ハッカソンでの試みから」

朝日新聞報道局写真部次長 武井宏之 ほか

16:05～16:30 「震災ビッグデータ利活用のための人材育成と国際連携」

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科

准教授 神武直彦

16:30～16:50 休憩

<第三部：パネルディスカッション>

16:50～17:30 パネルディスカッション

・コーディネーター

東京大学空間情報科学研究センター 教授 柴崎亮介

・パネラー

講演者全員

・次回の研究会のご案内

17:30～ 懇談会

<本研究会の概略>

我々は「マイクロジオデータ研究会」と呼ばれる研究会を発足させ、これまでにマイクロジオデータの普及と利活用について産官学の有識者を中心に議論を行って来ました。「マイクロジオデータ (MGD)」とは「ビッグデータ」の一種であり、位置情報や時間情報を持つ非集計のビッグデータの総称のことを言います。例えばこれまでも利用されてきた、デジタル住宅地図や電話帳のような空間的精度と網羅性が非常に高いデータや、近年利用可能になりつつある、モバイル統計、GPS ログ情報、Web から収集出来る情報など加工余地が高いミクروسケールの非集計データのことを言います。既存の各種統計データでは実現し得なかった時空間的にきめ細やかな計画・解析等への利活用が期待されています。

産学連携による MGD の開発・利活用に関する研究の最先端を知っていただくとともに、研究者同士が持つ MGD のシーズとニーズを結びつけて活発な議論が交わされることを期待しています。

<連絡先>

- ・マイクロジオデータ研究会 運営委員長
東京大学 地球観測データ統融合連携研究機構 特任助教
東京大学 空間情報科学研究センター 客員研究員
秋山祐樹 (aki@iis.u-tokyo.ac.jp)

- ・顧問
東京大学 空間情報科学研究センター 教授
柴崎亮介 (shiba@csis.u-tokyo.ac.jp)

- ・マイクロジオデータ研究会ホームページ
<http://geodata.csis.u-tokyo.ac.jp/wp/>
- ・本特別セッションに関するホームページ
<http://geodata.csis.u-tokyo.ac.jp/mgd/?p=871>